

2020（令和2）年度

三草山ゼフィルスの森 保全事業報告



## [2020(令和2)年度の主な事業内容]

### 1 三草山ゼフィルスの森の将来像の共有（新規）

検討会議のメンバーと事務局で、かつての三草山周辺の里山林の状態を知るとともに、ゼフィルスの森の将来像や植生管理の方法等について意見交換する勉強会を3回開催した。

参加者：石井実（大阪府立大学名誉教授）、藤原宣夫（大阪府立大学教授）、竹内剛（大阪府立大学客員研究員）、事務局（トラスト協会）

開催日：6月18日、9月3日、12月16日

（石井名誉教授は6月18日、9月3日のみ参加）

### 2 三草山ゼフィルスの森の更新・管理

#### (1) 萌芽更新のための施業（再開）

0.25haの更新施業を行った。

ナラ類を主とした直径20cm以上の樹の中から伐採木を選定し、過去の萌芽更新と同じ高さ、もしくは1m20cm近くで伐採した。

また、更新施業地において、部分的にシカ除けのための横張りネットを設置した。今後ネットの効果を調査する。

#### (2) ナラガシワ・クヌギ・コナラなどの苗の育成（継続）

11月に3か所にシードトラップを設置し堅果を回収した。

回収した堅果は種ごとに選別し、2021（令和3）年度以降にナラガシワ、コナラ、アベマキは麓のビニールハウス内で育成する。クヌギについてはささゆり学園（能勢町立小中一貫校）の要望があったため、小学校内で播種を行った。

#### (3) ネザサの管理（再開）

##### ○防火帯の刈り払い（2.35 ha）

急勾配の西側半分1.35haの下刈りを大阪府森林組合への委託により実施し、東側半分の1haを能勢みどりすとクラブの活動で実施した。

##### ○防火帯以外の刈り払い（0.07 ha）

スミレ類などの林床植生の生育環境を維持・改善するために林縁部、植栽地など鹿柵内の下刈りを実施した。

また観察会やイベント空間確保のため下刈りを行った。



防火帯・イベント空間の下刈り



シートトラップの設置

### 3 調査・研究業務

#### (1) ゼフィルス類等チョウ類の生息状況調査(継続)

##### ①ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査(継続)

日本鱗翅学会近畿支部が6月16日・17日実施

ゼフィルス類ではヒロオビミドリシジミ、ウラミスジシジミ、ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミの5種。それ以外のチョウ類では、ヒョウモンチョウ類が登山道入り口付近で多く確認された。

##### ②ゼフィルス類の卵調査(再開)

2月10日・13日実施

観察台周辺の萌芽更新地伐採日と合わせてゼフィルス類の卵調査を実施した。2日間で計80個の卵を確認

##### ③ニホンジカが林床植生に及ぼす影響に調査(継続・一部新規)

藤原教授(大阪府立大学)により以下の3つの調査が実施された。

- ・防鹿柵による林床植生の保護効果に関する調査
- ・ニホンジカの忌避植物調査
- ・横張ネットによる林床植生の保護効果に関する調査



横張ネット内の草刈り



マルチングボードの設置(イボタノキ)

(2) 三草山ゼフィルスの森調査研究助成（新規）

ゼフィルスの森の植生管理方法の検討に資する学術研究に対して助成を行った。

テーマ：「管理された里山林に生息するチョウ類の種構成」

対象者：竹内剛（大阪府立大学客員研究員）

#### 4 普及啓発

(1) 調査結果の公表（継続・一部新規）

関西自然保護機構の機関紙「地域自然史と保全」掲載の論文『「三草山ゼフィルスの森」におけるチョウ類群集の24年間の変化』を大阪みどりのトラスト協会 HP で公開した。また、三草山ゼフィルスの森調査研究助成制度による研究成果は、準備ができ次第掲載する。

(2) 観察会の開催（継続・一部新規）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度における普及啓発イベントについては中止、もしくは感染拡大防止策を講じて実施した。

・ゼフィルスエア観察会の開催

6月21日実施

一般参加の募集を行わず、講師の石井名誉教授と能勢みどりすとクラブで観察会を実施し、その模様を編集し SNS で動画配信を行った。

facebook URL: <https://www.facebook.com/osakagreentrust>



「チョウたちと守る里山」（解説：石井実会長）（約12分）

15週間前・再生196回



【三草山ゼフィルスの森 エア観察会（6月21日実施）動画をつくりました...

18週間前・再生321回



facebook 掲載画面

### (3) 麓の「タガメの田づくり」活動を通じた情報発信（継続）

例年、一般参加を募集して実施している 3 つのイベントについて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次の通り対応した。

#### ①タガメの田づくり

5 月 24 日 田植え：一般参加者を募集せず、能勢みどりすとクラブの活動として実施。

9 月 20 日 稲刈り：一般募集人数を減らし、規模を縮小して実施。  
一般参加者 18 名

12 月 6 日 冬支度：中止

#### ②学校課外教育参加（関西大学第一中学校）

学校の判断で中止となった。

### (4) 地元との連携（継続）

ささゆり学園（能勢町立小中一貫校）児童館活動で三草山でのハイキング、クヌギなどの種子拾いについて協力依頼があったため、シードトラップの設置やハイキング道の整備、当日の案内などを行った。（再掲）

11 月 21 日実施



エア観察会撮影の様子



ささゆり学園児童館活動

## 5 災害・各種被害対応（継続）

- ・山腹崩壊地及び神山・上杉進入路の現地調査を実施した。（巻末資料 3 参照）
- ・過去に生じた災害復旧のため、大阪府と連携し保安林指定に向けて地元（平野区）に説明を行った。
- ・崩壊した上杉側の登山道の補修にあたり、一部旧道の再利用を検討し、整備を実施した。

## 6 保全活動推進体制（継続）

### （1）能勢みどりすとクラブによる定例的な保全活動の実施

保全活動 26 回、参加者 156 名

### （2）巡回活動

地元の城好会に委嘱し、巡回活動を実施した。（12 回/年）

また、城好会は高齢化などにより、巡回活動の継続が困難な状況であったため、新たな巡回者募集を行った。3 名の応募があり、2021（令和 3）年度より委嘱する。

## 7 地上権についての検討（継続）

2021（令和 3）年度末で三草山ゼフィルスの森の地上権契約が終了するため、現在契約を結んでいる 4 団体の代表者に対し、今後の手続きや契約期間及び地上権料についての説明会を 2 回（8/28、10/1）実施した。2021（令和 3）年度も引き続き契約更新に向けた手続きを進める。

## 8 三草山ゼフィルスの森保全検討会議の開催（継続）

7 月 7 日（火） 能勢町役場 南館 2 階第会議室  
11 月 25 日（水） 能勢町浄瑠璃シアター小ホール

以上